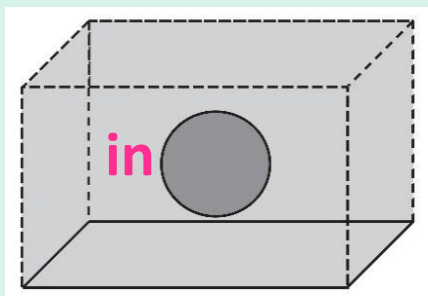


<前置詞> inの世界

CORE IMAGE



空間内に

Spring was in bloom.



in といえば「～の中に」が連想されます。しかし、英語の in と日本語の「中に」では、使い方が異なります。「太陽が昇る」という状況の表現を英語と日本語で比較してみましょう。

「太陽が東から昇る」⇒ **The sun rises in the east**

「東から昇る」 ⇒ ×rise from the east ○**rise in the east**

日本語では「から」を使うのに対して、英語では in を使っています。後で説明するように、同じ事象でも捉え方が違うのです。



The sun rises **in** the east.

太陽が東から昇る

in のコアは何かといえば、CORE IMAGEの図のように「空間内に」と表現することができます。

「空間」といえば、典型的には「入れ物」です。3次元の空間です。そこで、「箱の中にリンゴがある」状況は **an apple in the box** となります。**the cookies in the can** (缶のクッキー)、**the computer in the office** (オフィスのパソコン)、**stamps in the topdrawer** (一番上の引き出しの切手)などすべて入れ物の中に何かがあるという状況です。



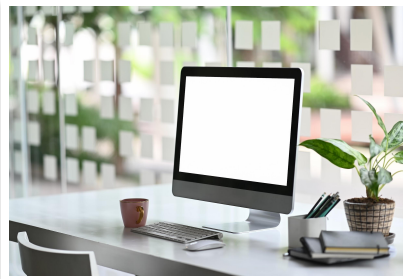
an apple **in** the box

箱の中にリンゴがある



the cookies **in** the can

缶のクッキー



the computer **in** the office

オフィスのパソコン



stamps **in** the topdrawer

一番上の引き出しの切手

いろいろな「空間内」の捉え方

a woman in a gorgeous dress といえば、どうでしょうか。「ゴージャスなドレスに包まれた女性」ということです。

たとえ、一部分でも「空間内」という捉え方ができれば、in を使って、**a man in a black hat** のように表現することができます。



a woman **in** a gorgeous dress

ゴージャスなドレスに包まれた女性



a man **in** a black hat

黒い帽子の男

境界がぼやけていても、「空間に包まれている」感じがあれば、in を使います。「雨 (rain) 」には、箱のような境界はありません。しかし、**The man is in the rain.** のように表現することができます。雨に包まれているという感じが **in the rain** で出てきます。

「草むらのバッタ」も **a grasshopper in the grass** となり、「髪の毛にささった麦わら」も **a straw in her hair** のように in を使います。



The man is **in** the rain.

男は雨の中にいる



a grasshopper **in** the grass

草むらのバッタ



a straw **in** her hair

髪の毛にささった麦わら

平面に広がった空間

「空間内」といっても立体空間だけではありません。平面に広がった空間にも in を使うことができます。「公園で遊んでいる少年たち」のことを指して、**The boys are playing in the park.** と表現するのがその例です。

「絵に描かれた女性」も「絵(平面)の中の女性」ということで **a woman in the picture** となります。「円の中の点」も同じで、**a spot in the circle** ですね。



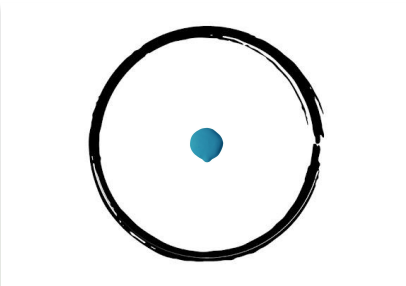
The boys are playing **in** the park.

少年たちは公園で遊んでいる



a woman **in** the picture

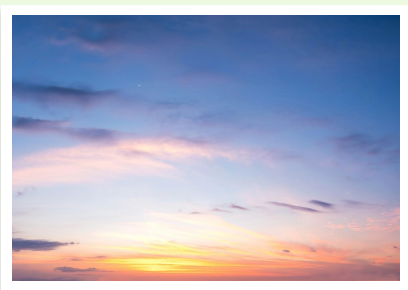
絵に描かれた女性



a spot **in** the circle

円の中の点

冒頭に挙げた例ですが、「太陽は東から昇って、西に沈む」という状況も **The sun rises in the east and sets in the west.** といいます。これも「平面の空間内」の例です。**The sun rises in the east** は、“the sun-rising” つまり「日の出」が the east という場(平面空間)に起こる。**The sun sets in the west.** は、“the sun-setting” つまり「日の入り」が the west という場(平面空間)に起こる、ということです。

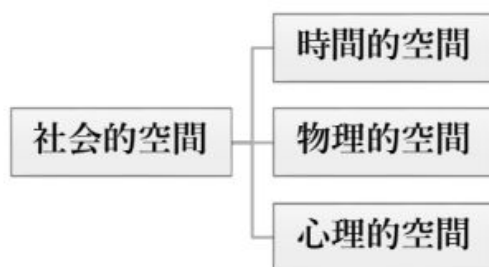


The sun rises **in** the east and sets **in** the west.

太陽は東から昇って、西に沈む

空間の拡張: 比喩的な広がり

物理的な空間だけでなく、以下のように、比喩的な空間にも in は使われます。



時間空間

例えば、**in 2020** といえば「2020年に」ということですが、2020年という時間の幅を in で表しています。**in a minute** は「一分という時間幅で」ということから、「時間幅が小さい」を経て「すぐに」という意味になります。**in the morning** (朝に)、**in spring** (春に)なども幅として時間を表現しています。「夜」は at night といえば、昼 (day) に対しての night であり、暗闇の訪れている時間帯、**in the night** といえば、時間の流れの中での活動が連想されます。



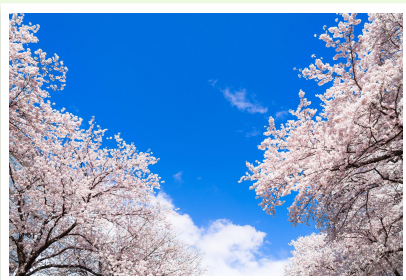
in a minute

すぐに



in the morning / **in the night**

朝に / 夜 (暗闇の訪れている時間帯) に

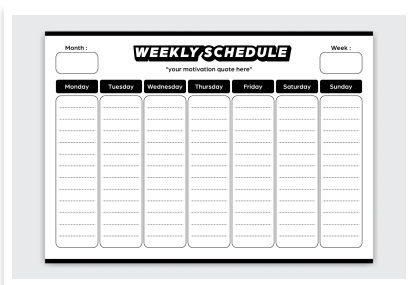


in spring

春に

There're seven days in a week. (1週間に7日ある)の in a week は「1週間の内に」という意味になります。I'll be back in a week. だと「1週間したら戻ってくる」という意味で、この in a week には from now on が前提としてはたらし、発話の時点から一週間が経過し、その経過する時間(所要時間)の長さ(時間の幅)を in で表現しています。

なお、「一週間以内」だと I'll call you within a week. と within を用います。



There're seven days in a week.

1週間に7日ある



I'll be back in a week.

1週間したら戻ってくる

社会的・心理的空間

in の「空間内」というイメージは、社会的な空間にも展開します。その場合、「所属」の意味が出てきます。in the Navy といえば「海軍に」、in the radical group といえば「過激な集団に」ということですが、これらは「社会的空間内」の事例です。Jack is in the Navy and is stationed in Florida. だと「ジャックは海軍にいてフロリダ駐在している」ということです。in Florida は物理的な空間としての例、in the Navy は社会的な空間の例です。



in the radical group

過激な集団に



Jack is **in** the Navy and is stationed in Florida.

ジャックは海軍にいてフロリダ駐在している

心理的空間の代表例としては、**in love** (恋して)があります。**Jack and Jill are in love.** だと「ジャックとジルは愛し合っている」という意味合いです。この **in love** は心理的空間の典型例です。**love** をあたかも入れ物のように捉えるのです。だから、**fall in love** (恋する)、**be in love** (恋している)、そして **fall out of love** (失恋する)という表現が可能になるのです。



Jack and Jill are **in** love.

ジャックとジルは愛し合っている



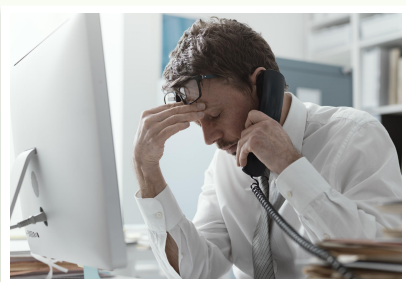
fall **in** love / be **in** love

恋する / 恋している

「困った」状況にあるというのも心理的な空間のケースで、以下がその例です。

in trouble / **in despair** / **in sorrow** / **in need** / **in anguish**
(困って) (絶望して) (悲しみに暮れて) (困窮して) (苦悩して)

If you find yourself in trouble, give me a call. (もし困ったことがあれば私に電話してください)では、困り果てた状況に置かれていることを表しています。

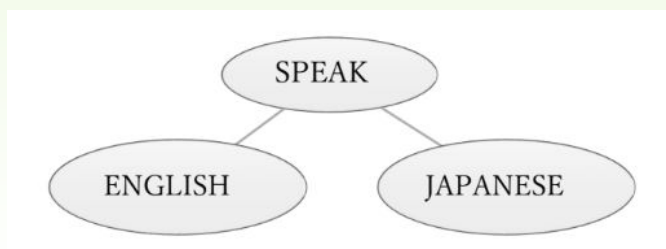


If you find yourself **in** trouble, give me a call.

もし困ったことがあれば私に電話してください

さらなる応用

「英語で話す」というのを **speak in English** といいます。日本語的には「手段」ということですが、英語的な発想からいうと「英語という言語空間の中で」ということです。



speak **in** English

英語で話す

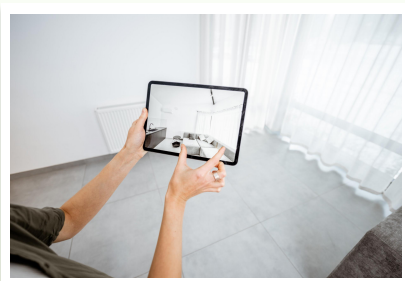
また、**in conclusion** は「結論として」、**in reality** は「現実として」と訳されますが、in に注目すれば、**in conclusion** は<結論部分という空間において>、**in reality** は<現実という空間において>と解釈することができます。**Spring was in bloom.** は「春たけなわだった」という意味合いですが、文字通り、「春は草花が咲き乱れる満開の中にあった」という感じですね。

このように、in が使われている状況では「空間内に」という意味合いがコアとして共通しているということです。



in conclusion

結論として



in reality

現実として